

令和6年度 北海道地域環境学習講座「eco-アカデミア」講座内容

項目	講座番号	講座名	内 容	区分						トレーナー (所属等)	居住地
				幼児	小学生	中学生	高校生	一般	その他		
「地球環境」のサイエンス	1	安全保障と環境政策	【講演】①～④などをテーマにお話します。：①安全保障とは ②エネルギー安全保障 ③食料安全保障 ④安全保障と環境政策 エネルギー、食料危機になれば私達の生命、暮らし、産業を守ることができません。環境政策を進める中で、エネルギー、食料の調達を阻害する事例を紹介し留意しなければならない視点を伝えます。				○	○		中村 恵子 (環境カウンセラー)	伊達市
	2	身近な素材から考えるエコとゼロカーボン	【講演】身近にある様々な素材がどのように作られ、エネルギーや環境に対してどのような存在であるのかについて、また、大学研究者としての視点と、子をもつ親として、地域の一員としてとらえる種々の環境問題や地域の問題について広くお話しします。 【体験】それぞれの年齢や環境にあわせ、素材そのものやエネルギーを感じるような演習実験や体験として、①～④を実施できます。①森林での様々な植物とそれらと素材の結びつきや、成分抽出など②光触媒による有機物の分解反応実験③身近な素材のガラスの工作④電気をつくる、使う工作実験(木炭電池など) ※①については野外開催可能、開催場所については要相談	○ (4歳程度)	○	○	○	○		高瀬 舞 (室蘭工業大学大学院工学研究科准教授)	伊達市
「循環型社会」の構築を目指して	3	私達の実践で創ろう!! 持続可能社会	【講演】①～⑦などをテーマにお話します。①循環型社会の道筋づくり～SDGsを意識した環境に配慮した暮らし方～ ②快適環境な街づくり ③バイオマスニッポンをめざして ④日本の環境問題と環境政策 ⑤事業所での環境配慮の取組 ⑥ごみの分別と資源化方法 ⑦環境に配慮した暮らし方				○	○		中村 恵子 (環境カウンセラー)	伊達市
「環境に配慮した行動」とは何か	4	元気なうちにお片付け	日常生活を楽しみながら環境にやさしい暮らし方を学びます。 【テーマ】ごみの減量、リサイクル、生ごみ、紙ごみ、古着、布リサイクル、容器包装(3R)、生前整理、海洋プラスチックごみ、空き家処理など 【その他】小学生向けの紙芝居も体験できます。	○	○	○	○	○		石塚 祐江 (環境カウンセラー)	札幌市
	5	ドイツのSDGsへの取り組み。前向きで楽しいエコライフスタイル	【講話】SDGsに配慮したライフスタイル、楽しく無理なくできることをコンセプトにし、ごみ対策や省エネ、交通、フェアトレード、防災、環境教育などのテーマで写真を見せながら、ドイツの成功例と札幌での活動を紹介します。 【体験】自然エネルギー教育につながるソーラーおもちゃや水遊びできるツールの体験、ソーラークッカーでの料理体験ができます。		○	○	○	○		フルスト ビルギット ピアンカ (NPO法人 八剱山エコゲータリング代表)	札幌市
	6	SDGsとまちづくり(地球の食卓、ワークキャンプ、環境保全、防災) <u>(R6年度新規)</u>	【講話】SDGsの取組を、世界の状況、ワークキャンプなどのボランティア、環境保全、防災の観点からお話します。国際の専攻科のある高校での実施も想定し、世界のSDGsの状況、国際的はパートナーシップ等について、より発展的な内容もお話できます。 【体験】災害時に要援護者を守るDIYワークショップ、避難所運営ゲーム(HUG)、SDGsカードゲームクロス、ワークキャンプ体験などが実施できます。		○	○	○	○	国際の専攻科のある高校	池田 誠 (一般財団法人北海道国際交流センター 専務理事/事務局長)	七飯町
	7	なぜSDGs?自分と地域のかかわり <u>(R6年度新規)</u>	【講話】「経済(貧困)が環境か」で揺れてきた世界の歴史の解説、「持続可能な社会とは何かの定義を紹介などを行い、ワークショップ形式によりSDGsと地域の関わりを自分の頭の頭で考え、対話を通じて学びを深めていきます。 【体験】ミニ地球づくり(屋外で植物の生えている土壌を梅酒瓶に移植し、教室に置いて1年以上継続的に観察する。)を実施できます。		○ (高学年)	○	○			奈須 憲一郎 (egaplant 代表)	下川町
「人と自然が共生する社会」とは何か	8	野生動物及びフットパス	【テーマ：野生動物】 ヒグマ、スズメバチ、マダニなど注意を要する動物とどう向き合ったらよいか、事故の防ぎ方等を学びます。 【テーマ：フットパス】 全道で盛り上がりを見せているフットパスの意義、作り方、楽しみ方等を学びます。 ※どちらかのテーマを選択してください。			○	○	○		小川 巖 (エコ・ネットワーク代表)	札幌市
	9	北の植物たち	【講話】北海道の野生植物・植生の特徴、植物群落の保全・保護の現状、自然再生や植生復元の取組などについてお話しします。また、北海道の湿原、海岸草原、ミスバショウ、ハンノキなどについても紹介します。			○	○	○		富士田 裕子 (北海道大学名誉教授)	札幌市
	10	北海道の自然環境を保全するための先端技術-ドローン、人工衛星画像の活用とSDGsの推進-	今、世界で気候変動への対策、生物多様性の保全の重要性が叫ばれています。このため、本講座では、北海道の森林や野生生物の現状について解説するとともに、ドローンや人工衛星画像を活用した自然環境調査の方法、SDGsの概要についてもお話しします。また、希望に応じて、ドローンの体験フライト実習も行います。		○ (高学年)	○	○	○		金子 正美 (酪農学園大学名誉教授)	札幌市
	11	変化する人とヒグマの関係と今後	近年大きな問題となっているヒグマの出没や被害の原因について、ヒグマの生態や行動、人間社会の変化という視点から解説します。また今後の人とのヒグマの関係を考えるために、「ゾーニング」(住み分け)という考え方や、様々な立場で「ゾーニング管理」を進めるための方法についてのアイデアを紹介します。		○ (高学年)	○	○	○		佐藤 喜和 (酪農学園大学農食環境群教授)	小樽市
	12	ヒグマによる事故にあわないために	北海道のどこに暮らしていても、ヒグマとの遭遇は身近な問題となりました。正しく知って、正しく恐れる(過剰に恐れない)ことが大切です。ヒグマについての正しい知識を身につけて、ヒグマに出会わないために、または出会ってしまった時の対処法を学びましょう。		○	○				佐藤 喜和 (酪農学園大学農食環境群教授)	小樽市

令和6年度 北海道地域環境学習講座「eco-アカデミア」講座内容

項目	講座番号	講座名	内 容	区分						トレーナー (所属等)	居住地	
				幼児	小学生	中学生	高校生	一般	その他			
「体験型環境学習」を体験しよう	13	地域の宝をいかした地域教育のすすめ	【講演】①～⑥などをテーマにお話します。①自然や第一次産業の豊かな北海道における環境教育、社会教育のあり方とその実践方法 ②自然学校の運営 ③長期間の子どもの体験活動事例 ④エコツーリズムの基本的な考え方 ⑤野外自然活動の意義 ⑥野外自然活動のリスクマネジメントの全体		○ (中高学年)	○	○	○		高木 晴光 (NPO法人くろす野外計画社 理事長)	黒松内町	
	14	体験を学びに活かす環境教育	【講話】①～③などをテーマにお話します。①木をテーマとする体験学習法(PLT)や生きものを題材とする体験学習法(プロジェクトWILD)などを活用した環境教育活動の理論と方法 ②ESD(持続可能な開発のための教育)の考え方と手法 ③体験活動のプログラムデザインの立案方法 【体験】PLTやプロジェクトWILDなどのアクティビティを体験できます。 【その他】オンラインでの講座も行っています。		○				山本 幹彦 (NPO法人当別エコロジカルコミュニティー 代表)	当別町		
	15	野外で算数・英語	【講話】幼児期から小学生までを対象にし、野外で遊びながら学ぶ意味や効果、教育手法、具体的な活動を紹介するほか、スウェーデンで行われている実例も紹介します。 【体験】算数や英語などの活動の紹介を行います。(小学生以上は、単元に合わせた活動の紹介を行います。) 【その他】オンラインでの講座も行っています。	○				○	山本 幹彦 (NPO法人当別エコロジカルコミュニティー 代表)	当別町		
	16	体験学習のすすめ一企画から実践へ	「自然に親しみながら自然を知り、自然に優しい心を育てる」をモットーに、人と自然の関わりを知る体験学習を行います。函館山や近隣の海岸を素材とした体験学習や、室内においてクラフト・調理実習等を通じて地域を取り巻く環境を知ることができます。 【講話】函館山の自然と要塞をテーマにお話します。 【体験】①～③のいずれかの体験ができます。①自然観察(函館山季節の見どころコース)②海岸漂着ゴミ回収・回収品で工作③イカ釣り漁船見学・漂着ゴミ回収・郷土料理実習(松前漬け・いかめし・季節の魚)		○	○	○	○	ファミリー参加団体・特別支援学校	木村 マサ子 (北海道アウトドアガイド)	函館市	
	17	子どもたちを考える北海道の森林 <u>(R6年度新規)</u>	【講話】小学校の森林に関する単元(5年生社会科「森林」や「川のながれ」)やSDGs活動を行っている小中学校の取組に関わる北海道の森林の役割や活用、森づくりについて授業をします。 【体験】森林の授業は校庭や公園など野外のフィールドでの実施を想定しています。野外で算数など他教科の活動も実施できます。		○ (中高学年)	○				山本 草 (NPO法人当別エコロジカルコミュニティー)	当別町	
「協働取組」の進め方	18	SDGsと協働による持続可能な地域づくり	【講話】2030年の達成年に向けて、多様な主体の実践が求められるSDGs(持続可能な開発目標)について、地域脱炭素や自然再興、海洋汚染等を中心とした基礎的な情報と、「誰一人取り残さない」理念や、環境省がローカルSDGs「地域循環共生圏」に取り入れた「環境、社会及び経済の統合的向上」等の考え方をお伝えします。		○ (中高学年)	○	○	○		溝淵 清彦 (公益財団法人北海道環境財団)	札幌市	
親子でチャレンジ「エコライフ」	19	海ごみはどこからきたの？	日常生活を楽しみながら環境にやさしい暮らし方を学びます。【テーマ】ごみの減量、リサイクル、生ごみ、紙ごみ、古着、布リサイクル、容器包装(3R)、生前整理、海洋プラスチックごみ、空き家処理など 【その他】小学生向けの紙しばいも体験できます。	○	○	○	○	○		石塚 祐江 (環境カウンセラー)	札幌市	
	20	「ごみ」と私たちの暮らしを考える！	日常生活を楽しみながら環境にやさしい暮らし方を学びます。【テーマ】ごみの減量、リサイクル、生ごみ、紙ごみ、古着、布リサイクル、容器包装(3R)、生前整理、海洋プラスチックごみ、空き家処理など 【その他】小学生向けの紙しばいも体験できます。	○	○	○	○	○		石塚 祐江 (環境カウンセラー)	札幌市	
	21	ドイツの環境教育とSDGsに関する体験	【講話】ドイツの環境教育のあり方等について、学校などの実例と取組を紹介します。知識・行動・心を育てる前向きな教育スタイルでエコライフの楽しさ・おいしさや可能性などについてお話します。 【体験】エコライフについて考えるきっかけとなる①～④などの体験もできます。①羊の毛でフェルトづくり②ストーンクラフト③ウッドクラフト④ソーラークッカー体験	○ (4歳程度)	○	○	○	○	○	親子・高齢者・障がい者	フルスト ビルギット ピアンカ (NPO八剱山エコケータリング代表)	札幌市
	22	森のようちえんと自然体験	【講演】幼児と自然との関係性、スウェーデンの森のようちえんについてお話します。 【体験】自然のメッセージを伝えてくれる森の妖精「ムツレ」と一緒に歌を歌ったりゲームなどをしながら、森の自然を知ることができます。 【その他】オンラインでの講座も行っています。	○				○	幼児と親	山本 幹彦 (NPO法人当別エコロジカルコミュニティー 代表)	当別町	
	23	フードロス体験から学ぼう ①クッキング ②ドローイング ③ボードゲーム	【講演】フードロスの現状や世界の環境問題との関係、私たちにできることなどについてお話します。防災の要素を交えたお話も可能です。 【体験】①又は②又は③の体験ができます。①クッキング…家で持て余した食材を持ち寄り、持ち寄った食材だけを使って料理して、みんなにいただきます。②ドローイング…食材カードを使い、限られた食材だけでどんな料理ができるかを絵に描いてみます。③ボードゲーム…食材が主人公の「人生ゲーム」を通じて、生産から消費に到までの過程や、経済的・環境的コスト、社会的意義について学びます。		○	○	○	○		親子・高齢者・障がい者	和田 順子 (good food, good life 代表)	札幌市